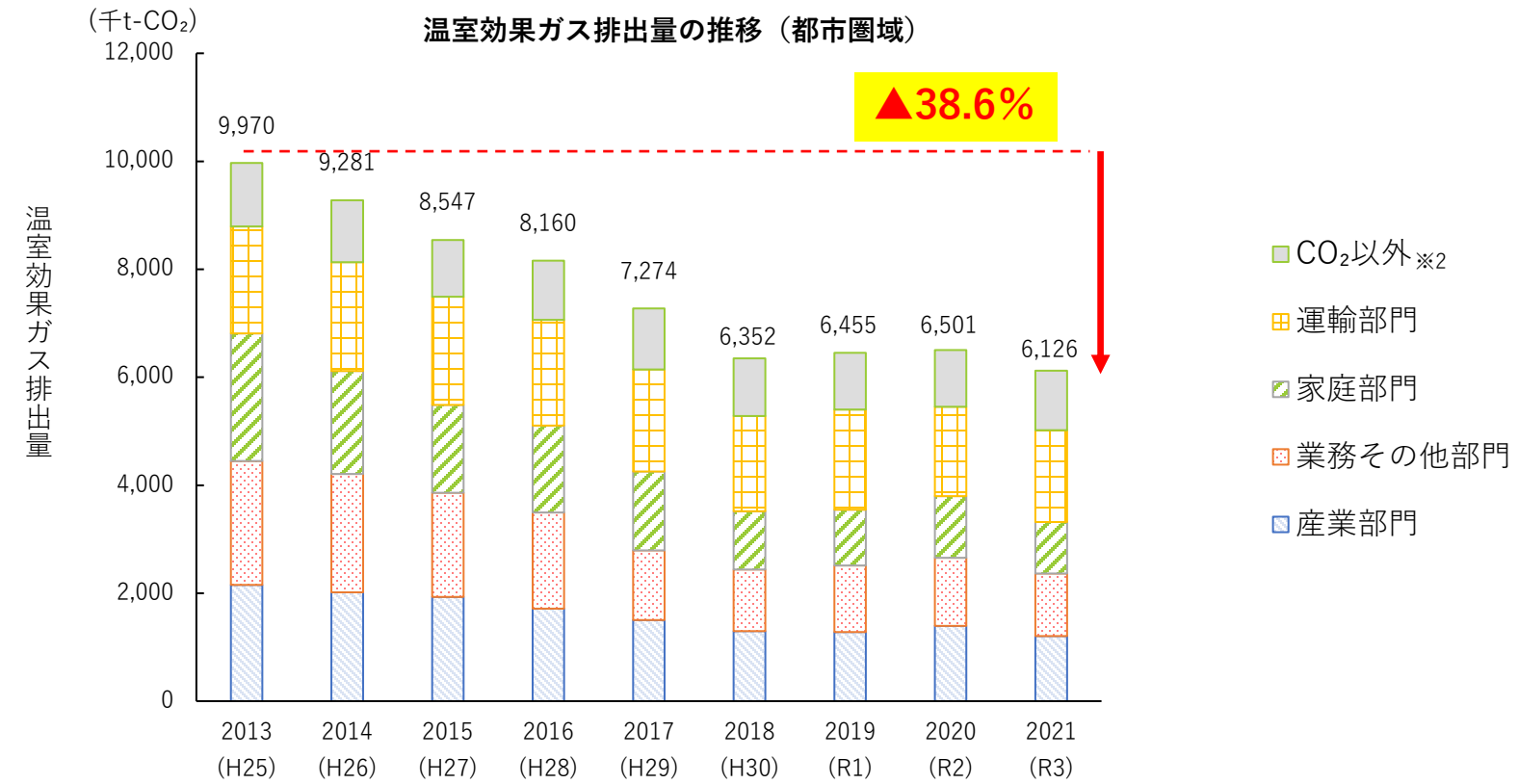


熊本連携中枢都市圏における令和3年度（2021年度）の温室効果ガス排出量について

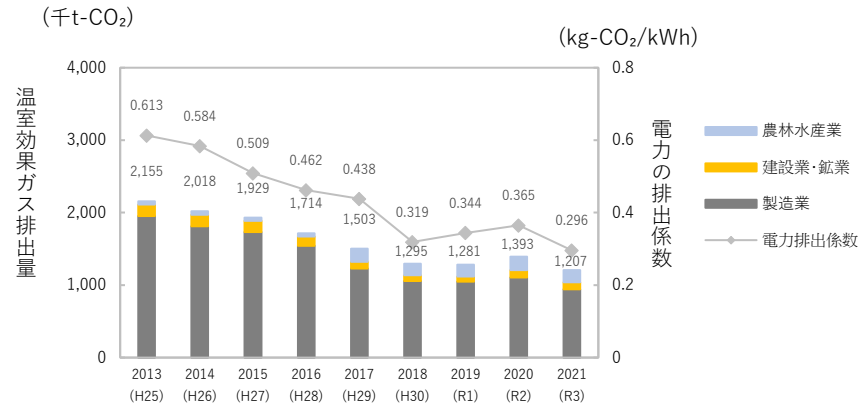
- 都市圏域における令和3年度（2021年度）の温室効果ガス排出量は、約612.6万トン（CO₂換算）
 - 基準年度比で ▲38.6%であり、過去最低値を記録
 - 短期目標（令和7年度（2025年度）までに基準年度比33%以上削減）も達成する水準に達している
 - 平成30年度（2018年度）以降は横ばいであるものの、基準年度（2013年度）からの推移を見ると、排出量は減少傾向にある
- 再エネ設備の普及、省エネの進展、電力排出係数※1の低減等により減少したと考えられる



※1 電力排出係数:電力を発電するためにどれだけの二酸化炭素を排出したかを計る指標
 ※2 CO₂以外:エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス。農業分野(家畜排せつ物、水田の中の微生物の反応等)や廃棄物分野(廃棄物の焼却等)が含まれる。

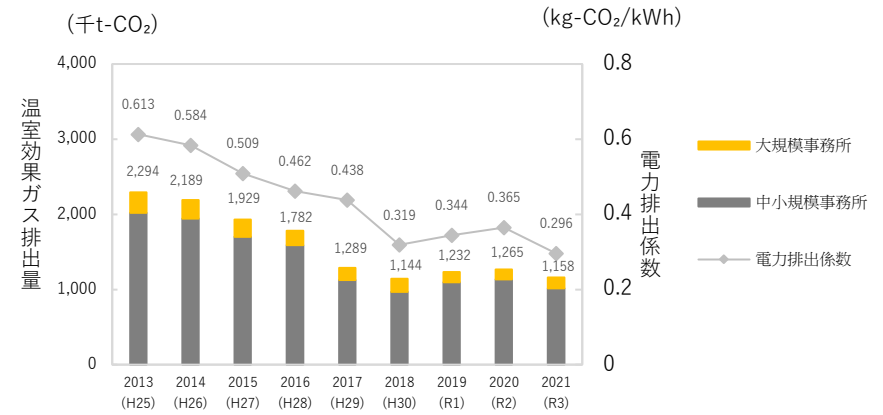
熊本連携中枢都市圏における令和3年度（2021年度）の温室効果ガス排出量について（部門別）

○ 産業部門（製造業・農林水産業・建設業等）



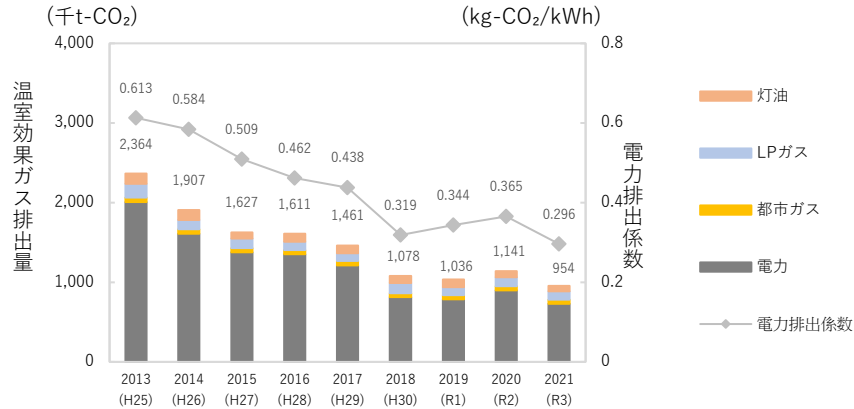
基準年度比▲44.0% 昨年度比▲13.3%

○ 業務その他部門（主に第3次産業）



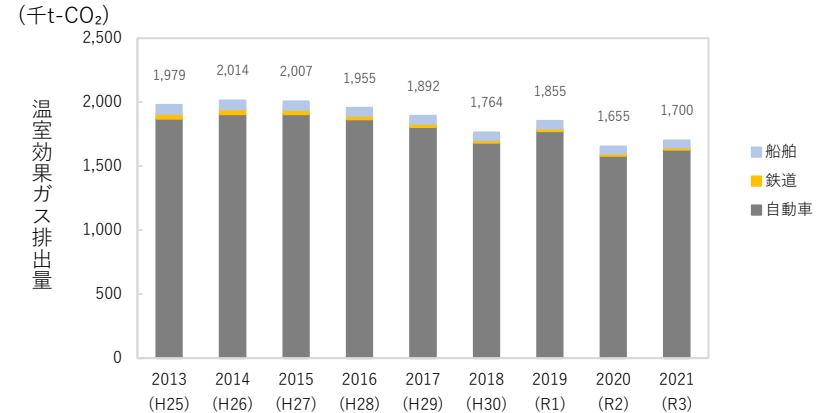
基準年度比▲49.5% 昨年度比▲8.4%

○ 家庭部門（家庭におけるエネルギー消費（車除く））



基準年度比▲59.6% 昨年度比▲16.4%

○ 運輸部門（自動車（自家用含む）・船舶・鉄道）



基準年度比▲14.1% 昨年度比+2.7%